

事務事業評価調書 平成30年度行政評価（シート1）

所管部課名	都市整備部 交通企画・モノレール推進課		作成日	平成30年7月24日		No.	9
作成責任者(課長)氏名	乙幡 康司		作成者氏名	尾高 興紀	電話	273	
事務事業名	乗合タクシー運行事業						
開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成	25年4月	<input type="checkbox"/> 不詳	区分	<input type="checkbox"/> 主要事業 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		
実施根拠	法令	条例	規則	要綱	計画	その他	1:義務規定 2:できる規定 3:方法等の規定
	法令等の名称	武蔵村山市乗合タクシー運行事業実施要綱 武蔵村山市乗合タクシーの介助者利用の試行に関する要領					
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 (<input type="checkbox"/> 第1号法定受託事務 <input type="checkbox"/> 第2号法定受託事務)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 (<input type="checkbox"/> 国庫補助対象 <input type="checkbox"/> 都補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独)						
補助の内容(補助率等)							
事務事業の概要	対象: 何/誰に対して	残堀の一部地域、伊奈平の全域及び大字三ツ木の全域(以下「対象地域」という。)の住民であって、利用者登録を済ませた者					
	手段(全体概要): どういった方法(内容)で実施するのか※具体的に記入	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 市民協働・ボランティア <input type="checkbox"/> 補助・助成等 <input type="checkbox"/> その他()				
	意図: どのような状態にすることを目指すのか	利用対象者の自宅と市内13か所の公共公益施設を結ぶ公共交通として、デマンド型の乗合タクシーを運行する。 利用料金:1乗車につき一人300円(利用登録者の要件に応じた割引制度あり) 運行日:月曜日~土曜日(祝日及び年末年始を除く) 運行時間:午前8時~午後5時					
	実施結果: どうなったのか(29年度実績)	延べ4,680人の利用があり、対象地域の公共交通として機能した。 【乗降者数上位5位の乗降箇所における利用実績()内は全体に対する比率】 交通プラザ 2,028人(43.3%) 武蔵村山病院 1,324人(28.3%) 市役所 760人(16.2%) 村山医療センター 168人(3.6%) 市民総合センター 155人(3.3%)					
類似事業の有無	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	実施部課(団体)名 類似事業名					
事業環境の変化	利用者数について、平成29年度は前年度比で微減となったが、運行開始から平成28年度末までの間は毎年度利用者数を伸ばし、新たな公共交通として地域への定着が進んでいる。						
他市等の状況	総論 ※26市等の状況	東京都内で同様の事業を行う自治体はない					
市民・議会等からの意見	議会から「更なる利用促進とともに、利用できる対象者、対象地域、乗降場所等を拡大するよう」意見があった。						
【評価指標】		指標名	単位	説明・計算式			
活動指標	①	利用登録者数	人	各年度末現在の延べ利用登録者数			
	②						
成果指標	①	利用者数	人	各年度の年間延べ利用者数			
	②						
費用・成果の推移		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	備考		
事業費(千円)		7,817	7,648	7,649			
うち一般財源		7,006	6,869	6,849	事業費から利用料金を差し引いた額		
所要人員(人)		0.30	0.30	0.30			
総コスト(千円)		10,359	10,178	10,189			
活動指標	①	683人	739人	-人			
	②						
成果指標	①	4,821人	4,680人	-人			
	②						

一 次 評 価	必然性	(説明) <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な点がある
	有効性	(説明) <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な点がある
	手段の妥当性	(説明) <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地はない(ほとんどない) <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	効率性	(説明) <input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 非効率的な点がある
	達成度	(説明) <input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下
	公平性	(説明) <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な点がある
	○廃止・休止した場合の影響	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直し <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 廃止不可能 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	(説明) ※その影響等を具体的に記入	【総合的意見】
	本事業を廃止・休止した場合、対象地域に居住する市民が行政サービスの享受や通院等を行うための移動手段がなくなり、交通手段の地域格差が生じることから、影響は大きい。	本事業は、地域公共交通会議において、本市の公共交通の在り方を踏まえた検討を経て運行を開始したものであり、地域への定着も着実に進んでいる。また、乗降場所や運行方法の見直しも適宜行い、現在に至っている。 したがって、今後も、利用促進や地域のニーズの把握を適宜行いながら、継続していくことが適切である。
	二 次 評 価	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
【総合的意見】	本事業は、対象地域に居住する利用登録を済ませた市民の自宅と市内13か所の公共公益施設を結ぶ公共交通として、乗合タクシー「むらタク」を運行する事業であり、民間の路線バスの運行範囲を補完するとともに、利用者の需要に応じて効率的な運行を行っていることから、今後も引き続き継続することが適当である。 なお、運行当初に掲げた目標となる利用登録者数及び年間の利用者数を既に達成しており、現在も利用登録者数が増えている状況を踏まえて、更なる利用促進やニーズの把握に努めることが肝要である。	
行政評価委員会意見	本事業は、市内循環バスに代わる新たな公共交通として対象地域に定着するとともに、市民の利便性の向上に寄与していることから、今後も継続することが適当である。 また、運行開始から5年以上が経過した現在も利用登録者数が増加していることを考慮すれば、対象地域だけでなく近隣に居住する市民にも潜在的なニーズはあるものと思料する。 よって、引き続き利用を促進するとともに、利用者のニーズ等に配慮しながら対象地域の拡大について検討していくことが肝要である。 なお、スマートフォンのアプリを活用し、より容易かつ迅速にタクシーを利用できる新たなサービスが開始されているため、このような動向も視野に入れた上で、更に利便性の高い事業へと発展させていくことを求めたい。	